

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	特別保育拡充事業		
事業担当	健康・こども部 保育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③<健康・安心・福祉力>その人らしく安心して暮らせる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	子育て中の保護者、就学前児童	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 民間保育園】		
目的・目標		事業の概要	
子育てしやすい環境がつけられています。		多様な保育ニーズに応えるため、一時預かり、特定保育、延長保育、休日保育や病後児保育を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	実施保育所			単位	箇所
	説明・算定式	延べ実施保育所数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	57	57	58	58	
	実績	59	57	58		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	利用児童数			単位	人
	説明・算定式	一時・特定・延長・休日・病後児保育を利用している延べ児童数				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	105500	100000	100100	100100	
	実績	90667	95985	94280		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
一時保育(16園)、特定保育(7園)、休日保育(1園)、延長保育(33園)、病後児保育(1園)の特別保育を実施したことにより、子育て中の保護者のニーズに応えました。						
平成25年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	核家族化の進行、女性の社会進出の増大と就労形態の多様化により、多種多様な保育形態への要請等が高まっており、必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	一時保育、特定保育、休日保育、延長保育、病後児保育を実施することにより、多様な保育ニーズを満たすことができるため、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	子育て中の保護者の多様な保育ニーズに対応し、子育て家庭を支えていることから、事業の目的を達成するのに妥当であると考えられます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	子育て中の保護者の多様な保育ニーズに対応するため、保育施設の安全性の確保、保育士の適正配置等を行うことにより効率性を高めていきます。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		病後児保育を開始した中で見えてきた課題に対応するため、事業の実施状況を分析する必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		特別保育の実施、病後児保育の検討	特別保育の実施	特別保育の実施、病後児保育の実施	特別保育の実施、病後児保育の実施
財源内訳	国庫支出金	14,046	13,024	0	0
	県支出金	94,747	87,047	97,757	131,208
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	55,195	76,313	93,531	71,511
事業費 (A)		163,988	176,384	191,288	202,719
執行率 (%)		98.27	100.00	94.66	
内訳	職員 (人)	5.95	6.05	6.15	5.95
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		48,219	48,491	48,881	46,488
フルコスト (A+B)		212,207	224,875	240,169	249,207

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針	病後児保育の実施状況の分析の結果を事業に反映させていきます。
課長コメント	多様な保育ニーズに応えるための一時保育、特定保育、延長保育、休日保育、病後児保育について、計画どおり実施できました。今後は、平成25年度に開設した病後児保育の実施状況をみながら、その結果を事業に反映させていきます。